



Junior Drive
Shiraishi Racing School

REPORT

報告書

3月26日（水）岡山フォーミュラトレーニング

3月28日（金）岡山フォーミュラトレーニング

3²⁰²⁵ Mar





Junior Drive
Shiraishi Racing School

SPORTS KART



舞洲スポーツアイランド



GARAGE38
Luce ed ombra

FTK corporation



PAINT BY
O·N·O.inc

III River inc.



REPORT

3月26日（水） 岡山フォーミュラトレーニング



23°C

Track
OKAYAMA

Driver
Mirai Nishida

デビューレース直前。最後の調整

西田光来(17)がこのトレーニングに参加しました。西田はこの週末にJAF公式戦デビューを控えており、本番前の最後のトレーニングとなります。

この日の1番の課題は、コーナーへの進入ラインを広く使うこと。前回からこの課題をクリアするべく取り組んできましたが、なかなか修正することができず西田自身も悩んでいました。

1セッション目からその課題を修正するべくマシンに乗り込みます。この日の岡山は温暖な気候でタイヤも温めやすく絶好の走行日和でした。徐々にペースを上げていき、自らの課題点を意識しながら走行を続けていきました。2セッション目も同じ内容で取り組み、少しずつではあるもののライン取りの修正ができてきました。最後の走行セッションではラップタイムを意識しながら、理想のラインで走れるかを試していきました。明らかにライン取りの修正ができ、理想の走りができるようになりました。ラップタイムも自己ベストを更新し、自信が持てる結果でこの日のトレーニングを終えました。

スクール生の中でフォーミュラの走行マイレージが最も少ない西田にとって、この日の走行は非常に有意義なものとなりました。この2日後にはデビュー戦のレースウィークが始まります。





15°C

Track
OKAYAMA

Driver
Onohara/Hashiramoto

レースウィーク。台数が多い中でのトレーニング

小野原悠（15）と柱本翔夢伊（14）の2名がこのトレーニングに参加しました。この日は土日に開催される岡山チャレンジカップレースの金曜日フリー走行に混走してのトレーニングとなります。

1セッション目は小野原が走行します。ピットレーンにはレースにエントリーしている選手たちが並び、いつもより緊張感漂う雰囲気の中セッションがスタートしていきました。小野原は7月にJAF公式戦デビューを控えているため、この日のような台数の多い中での走行経験は非常に重要なものでした。最初は周囲の雰囲気に戸惑う様子でしたが、時間が経つにつれ他の選手が公式戦に向けて走行する中、上手く走ることができるようになりました。ラップタイムも上位グループと同じタイムをマークし、自信の持てる結果となりました。

2セッション目は柱本が乗り込みます。いつもと違う雰囲気に緊張した面持ちでした。他の選手たちとピットレーンに並びコースインしていきます。柱本は終始、思うような走りができず、レースウィークの雰囲気に圧倒されてしまいました。

3セッション目は小野原が走行します。この台数の多い中での走行にも慣れ、一人のドライバーとしてしっかり存在感を出すことができていました。最後は柱本にドライバーチェンジし、コースインしていきました。小野原とは対照的に柱本は場の雰囲気に慣れることができず、最後まで固い走りが続いていました。彼にとってこの日の経験が今後につながることを期待したいです。



SPORTS KART



舞洲スポーツアイランド



GARAGE38
Luce ed ombra

FTK corporation



PAINT BY
O.N.O.inc

III River inc.



DRIVERS PERFORMANCE

Yu - ONOHARA (15)

デビュー戦まであと3カ月となった小野原。小学5年生からフォーミュラでトレーニングを積み、いよいよこの瞬間が近づいてきました。今回のレースドライバーたちとの混走でも良い走りができていたので、これからが非常に楽しみです。



Kamui - HASHIRAMOTO (14)

場の空気感に吞まれてしまった柱本。本来の走りができれば他のドライバーに劣らないペースで走れるドライバーなので、今後はメンタル面の強化が必要です。今回の悔しい経験を糧にして強くなってもらいたいです。



Mirai - NISHIDA (17)

遂にデビューを果たした西田。本番前の最後の練習で自信をつけることができたのは彼にとって大きかったようです。デビュー戦で表彰台は素晴らしい結果ですが、まだまだ修正できる場所があるので満足せずレベルを高めてもらいたいです。



杉田と西田がダブル表彰台獲得！

スクール生の杉田悠真（16）と西田光来（17）が公式戦のフォーミュラレースに挑みました。杉田は昨年ここ岡山国際サーキットでデビューを果たし、この1年間実戦を積み経験を高めてきました。西田は3か月間という短いトレーニング期間でドライビングを磨き、これが自身初のデビューレースとなります。

金曜日のフリー走行から2人は速さを見せます。杉田はユーズドタイヤでありながらトップタイムを記録し、幸先の良いスタートを切りました。西田もレースで使用するピンクにカラーリングされた本番車両で初めての走行を行い、いきなり好タイムをマークし周囲を驚かせました。

土曜日のフリー走行では、日曜日の予選と決勝に向けたシミュレーションを実施しました。2台共にニュータイヤでのマシンバランスや自身のドライビング改善に時間を費やしました。

そして迎えた決勝当日。まずはスタート順を決める朝の予選がスタートしました。15分間という短い時間の中で2度の赤旗が出てしまい、2台共に思うようなアタックができず、西田が3番手。杉田は5番手で予選を終えました。

いよいよ始まる決勝。2人とも身体のウォームアップをしてからマシンに乗り込みました。フォーメーションラップで2番手の車両がオイル漏れを起こし、コース上の清掃のため40分ほどスタートがディレイされました。レースは再開されたものの安全上の都合でセーフティーカースタートとなりました。レースは2周減算され10週のレースがスタートしていきました。西田は初のスタートで遅れたものの2番手をキープ。杉田は好スタートを決め、1コーナーで3番手にポジションを上げました。杉田の勢いはそのままに前を行く西田をパスし、オープニングラップを2番手で通過していきました。

レース終盤にアクシデントによりセーフティーカーが導入され、レースは残り1周のところで再スタートが切られました。杉田はトップの選手に並びかけるも、あと一歩及ばず、悔しい2位となりました。西田はその真後ろに食らいつき、デビュー戦で3位表彰台を獲得しました。



【トレーニングを終えて】

今月のトレーニングはレースウィークと重なり、いつもと違った雰囲気の中でさまざまな発見がありました。

レースに参戦している現役ドライバー勢と共に走れる機会は非常に重要であり、大きな経験となります。

一昨年の1期生の三浦から始まり、昨年の杉田、今回の西田と全員がデビュー戦で表彰台を獲得する活躍を見せてくれています。

彼らに続く、ジュニアドライバーたちの活躍が楽しみです。

Junior Drive講師 白石勇樹





Junior Drive
Shiraishi Racing School

SPORTS KART



舞洲スポーツアイランド



GARAGE38
Luce ed ombra

FTK corporation



PAINT BY
O·N·O.inc

III River inc.



apollostation oil apollostation oil apollostation oil

ニチアス NICHAS ニチアス NICHAS

MOELLUSA MOELLUSA MOELLUSA MOELLUSA MOELLUSA



Junior Drive
Shiraishi Racing School

